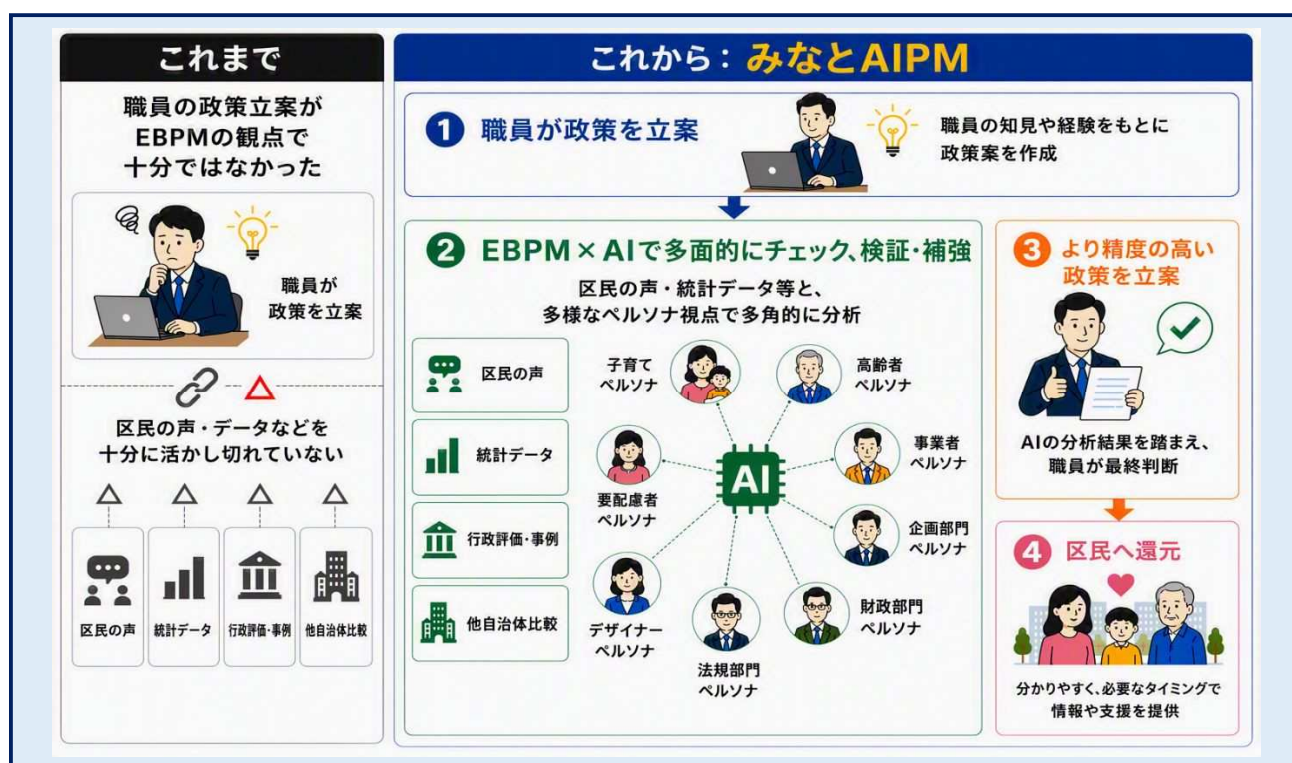


E B P M（エビデンスに基づく政策立案）にA Iを融合させた 政策立案手法「みなとA I P M」を始動します

近年、港区の区政課題は分野をまたいで複雑・多様化しており、区民の声や地域の実態、統計等の客観的データに基づいた政策形成が重要です。

一方、「世界一のA I先進都市」を目指す港区では、これまでもE B P Mの活用に向け取り組んできましたが、今後は、職員が立案した政策案について、E B P Mとともに、A Iにより多様な視点から検証・補強することが欠かせません。このため、A IとE B P Mを融合した新たな政策立案の考え方「A I P M (AI Policy Making)」により、区民起点で、より速く確かな政策形成を進めるプロジェクト「みなとA I P M」を始動します。



「みなとA I P M」では、区民の声や統計的裏付けに加え、子育て、高齢者など複数の立場の区民や、企画、財政、法務部門など様々な立場の職員など、多様なペルソナ（A Iに人格を持たせた検証者）を設定し、A Iがオーケストラの指揮者のように各ペルソナを指揮しながら政策をチェックすることで、精度の高い政策形成の実現を目指します。

あわせて、資料の見せ方も、デザイナーペルソナによりA Iが支援し、政策内容を分かりやすく区民へ還元するとともに、情報や支援を必要な人へ必要な時に届けます。

まずは、令和9年度予算編成に向け、職員が作成した予算要求様式（別紙）に対し、複数の立場のペルソナがそれぞれの視点でその妥当性や効果について確認することで、予算要求資料を多角的に検証・補強する仕組みの構築を、試行的に実施します。

【問合せ先】

企画経営部企画課長

電話：03-3578-2085



つなげる港、つなげる未来

港区は令和9年3月15日に
区政80周年を迎えます

1 事業名	●●	区分	新規	MINATOビジョン	政策No. ●● 政策名 ※政策No.を選択してください。 施策No. ●● 施策名 ※施策No.を選択してください。 リーディングプロジェクト ※最も関連性が高いものを選択してください。
2 事業説明文	○○（対象）が、○○（目的）できるよう、○○（手法）します。（実施する内容を一文で記載）				
3 事業内容、実施手法、スケジュール等			4 経緯、背景、現状課題等（根拠データや区民ニーズも含めながら）		
【事業内容】 ●●●● 【対象】 ●● 【場所・回数】 ●● 【補助率・上限】 ●●			置かれている状況・解決しなければいけない課題 （国や都の状況だけではなく、港区の状況が分かるように）		
			5 国・都・他区等の具体的な取組状況（補助金等含む）		
			都：●●に●円の補助を実施（事業者への直接補助） 他区：これまで実施なし		
スケジュール 令和●年●月 ●● ●月 ●● ●月 ●●			6 事業実施により得られる効果・成果（可能な限り数値目標を記載）		
			・●●の一層の向上（を強化） ・●●を●●まで引き上げ		
7 要求内容			8 調整内容		
(単位：千円)			(単位：千円)		
項目 小計 (うち特財)			項目 小計 (うち特財)		
●●経費 ●●補助（@●円×●件×●回） ●●購入					
要求額 0 0			調整額 0 0		
9 調整の考え方			10 財源内訳、将来コスト		
			(単位：千円)		
			財源内訳 国庫支出金 都支出金 ●●補助金 その他特財 一般財源 -		
			事業実施に伴う将来コスト ●●経費 ●千円（うち特財●千円）／年 債務負担行為（●年度～●年度）：限度額●千円		